



川崎市議会議員

# 本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 29 (令和2年3月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。  
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

## ごあいさつ



感染が拡大している新型コロナウイルスの猛威は止まるどころか、勢いを一層増して、世界中の人々の健康を脅かしています。治療に有効な薬がない中では、感染しないよう一人ひとりが注意を払うことが重要です。手洗い、うがい、咳エチケットの徹底や消毒用アルコールの活用を心がけてください。また、インターネット上を中心に根拠のない誤った情報「フェイクニュース」が回っていますので、くれぐれもご注意ください。

また、いたずらに生活用品等の買い占めもしないよう、冷静にお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

## 令和2年度 一般会計予算（案）について

2月に発表された令和2年度当初予算（案）についての論戦が同17日に開会した川崎市議会 令和2年第1回定例会で始まっています。今月は、より深い議論を行うべく9日から12日にかけて予算審査特別委員会を開きます。そうした中、世界を席卷する新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、われわれ自由民主党川崎市議会議員団は、行政のコロナ対策を支えるべく質問時間を短縮する方針を決めました。質疑時間が短縮されても、一人ひとりが充実した質問を心がけ、新年度の市民生活の一層の向上と本市のさらなる発展に向けて全力を注いでいくことには変わりありません。市民の健康と安全との両立を図り、議会の役目を果たして参ります。

令和2年度の一般会計予算（案）は、前年度の当初予算と比べて4.4%増の7,925億円となり、6年連続の過去最大規模となりました。しかし、

市税収入については、3,634 億円。人口増が続き納税者数が増加したことで個人市民税や固定資産税は増えたものの、中国経済の影響を受けるなど企業収益の大幅減によって、8 年ぶりに減少に転じました。

新年度予算（案）の柱となるのは、昨秋の台風被害を踏まえた取り組みで、全壊・半壊の家屋等の撤去や多摩川緑地の復旧、川崎市市民ミュージアムの収蔵品の修復などをはじめ、今後の備えとして避難所等の資材補充など総額 81.9 億円が計上されました。

また、私が副委員長を務める文教委員会が所管する分野では、学校給食費の公会計化への取り組みがいよいよ本格化致します。これまで学校において教職員が給食費の徴収業務を行っていましたが、教職員の大きな負担となっていることが以前から懸念されてきました。国においても中央教育審議会が「学校給食費については公会計化及び地方公共団体による徴収を基本とすべき」と答申し、令和元年 7 月の文部科学省のガイドラインにも同様の旨が示されました。政令指定都市では、平成 21 年度に福岡市が実施したのを皮切りに、横浜市、大阪市、千葉市、仙台市が公会計化とし、今後も実施する都市は増える見通しです。川崎市では、令和 3 年 4 月からの実施を目指し、令和 2 年度にシステム化を進めるべく、この度の予算（案）に学校給食費公会計化事業費として 1 億 1,265 万円が計上されています。

公会計化により、各学校において行われていた給食費の徴収業務は教育委員会事務局に移管され、①徴収方法は口座振替を原則とし、②口座登録のない保護者等への対応としてはコンビニ納付を可能とする納付書を送付することとして、③現金による納付の取り扱いは一切行わない方針です。また、当事業による期待される効果として、働き方改革の観点では、教職員の負担軽減、台帳の電子化・一元的管理による煩雑業務の解消が期待でき、市民の利便性向上の観点からは、口座振替対象金融機関の増加や金融機関の窓口納付・コンビニ納付等、多様な納付方法の導入が挙げられます。

日常と災害時等の非常時の双方において、市民の皆様に安心感を持って頂けるよう、各取り組みの充実に向けて尽力して参ります。